

コミュニティ・スクール新聞

発行所
藤中学区
学校運営協議
事務局

ご挨拶します

先月号では本年度から校長として活躍なさる3つの小学校の方々から地域の皆様へコメントをいただきました。そこで、今号ではコミュニティ・スクール活動に深く関わっていただいて藤枝中学校の校長と本年度から2名体制となったコミュニティ・スクールディレクターの方々に言葉を寄せていただきました。

藤枝中学校長 小林 彰



本中学校区でも、昨年度から小中一貫教育とコミュニティ・スクールが始まりました。小中学校9年間の教育目標「自律・探究・協調」に向けて、小学

静岡県サッカー協会副会長 服部 康雄

幼少期よりサッカーに親しみ早半世紀が過ぎ、改めて人生を振り返ってみてもサッカーに育てられ支えられた人生だと思えます。この頃ふと大学卒業時の教授の言葉を思い出します。「君達は体育の教員になるからには趣味を持って。君達は職業が特技であり趣味でもある。退職後、趣味がなければ老後の人生楽しくないぞ。」との忠告で

校から中学校への円滑な接続が図られるよう様々な取組を進めています。特に、古くから政治経済、教育、文化の中心として栄え、伝統を受け継いでいるこの地域で育つた子どもたちに、地域の魅力や自分と地域とのかかわりなどを考える「ふるさと学習」を、小中学校で系統的に進めていきたいと考えています。地域に誇りと愛着を感じる子どもたちに育つて欲しい、この願いは地域の皆様も同じであると感じています。本中学校区小中一貫教育のキャッチフレーズは「はばたけ!ふるさとの誇りを担う子どもたち」はまさにこのような願いから生まれました。そのため、本中学校区で進めているコミュニティ・スクールを充実させ、家庭、地域、学校が連携・協働して子どもたちの成長を支えていくことが大切であると考えています。昨年度から始まった「にこにこあい

さつ運動」は、家庭、地域、学校の子どもたちに対する思い、地域のまとまり、地域の方々の温かさなどを子どもたちに伝える大きな機会となっております。「豊かな土壌に豊かな花が咲く」、家庭、地域の皆様と気持ちを合わせて、これからも子どもたちに豊かな教育が提供できるよう努めてまいります。



コミュニティ・スクールディレクター 興津 博文

新任コミュニティ・スクールディレクターの興津博文です。地元で育つた「枝子」です。現行学習指導要領のねらいは、「生きる力を育む」ことで、「社会に開かれた教育課程」がコンセプトです。小中学校の学びを多くの方々と共有しながら、子どもたちの学びを地域・社会全体で応援していくことが求められています。地域・

社会と学校をつなぐパイプ役として、知恵を出し、汗をかきたいと思えます。よろしくお願ひします。



コミュニティ・スクールディレクター 塚本 一弘

美味しいご飯、快適な家、今は何不自由なく生活している自分もかつて歳末助け合いのお世話になったことがあります。その当時いただいたお餅や野菜は美味しかったですが、何よりも印象的だったのは、そこに込められている人々の思いでした。思いを受けとめる人もいれば伝えようとする人もいます。こんな温かい「思いのキャッチボール」ができる機会にあふれた環境の中で安心して子どもたちは巣立っていくのではないのでしょうか。お手伝いできればと思います。

ふるさとの先達!

した。現在忠告通りになりましたが・・・逆にこんな言葉も残してくれました。「砂漠に穴を掘ってみよ。掘れば掘るほど穴が深くなり地表面の穴の周囲も広がってくる。人生も一緒だぞ。その道を突き進めば突き進むほど周囲のものも増えてくる。多くの人も知り合いになれる。とことん突き進むのも楽しいぞ。」との言葉でした。一回だけの人生とことん突き進みたいと思います。

はばたけ!
ふるさとの誇りを担う子どもたち
藤枝中学校区小中一貫教育 藤枝中学校・藤枝小学校・藤枝中央小学校・稲葉小学校

本年度から登場

本年度から藤枝中学校の体育館前にコミュニティ・スクールの横断幕がデザインを一新して登場しました。ご来校の際はぜひご覧下さい。